

危険なブロック塀等の撤去費用を補助します！

市は、道路に面するブロック塀や石塀を撤去あるいは安全な塀に改善する場合に費用の一部を助成しています。

対象となるブロック塀		道路に面し、高さが60cmを超えるブロック塀等
撤去の場合	補助対象	小学校の通学路 緊急輸送路又は避難場所に面するもの
	補助額	工事費と、塀の長さ1mにつき、20,000円をかけた額を比較して、いずれか少ない方の額の3分の2 (最大26万6千円)
	補助対象	通学路・避難路等を除く市内全域
	補助額	工事費と、塀の長さ1mにつき、9,200円をかけた額を比較して、いずれか少ない方の額の2分の1 (最大10万円)
安全な塀に改善する場合	補助対象	小学校の通学路 緊急輸送路又は避難場所に面するもの
	補助額	工事費と、塀の長さ1mにつき3万8,400円をかけた額を比較して、いずれか少ない方の額の3分の2 (最大3万3千円) ※基礎から作り直す等条件があります

プロジェクト「TOUKAI-0」 窓口

富士市 都市整備部
建築土地対策課 建築安全推進担当

電話 0545-55-2791



静岡県 暮らし・環境部 建築安全推進課
TEL.054-221-3320 FAX.054-221-3567

耐震ナビ [検索](#) 「耐震ナビ」から耐震診断の申込ができます

プロジェクト
TOUKAI (東海 倒壊) -0

「自分の命は自分で守る」 今こそ耐震補強を！



耐震補強工事補助額は **100万円**



補強計画の作成



耐震補強工事

耐震補強工事で安心な住まいづくり



所得税

耐震補強工事で**税金の特例**が受けられます。

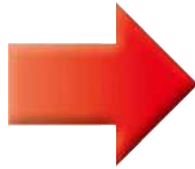
固定
資産税

設計や耐震補強工事には**補助金**がでます。

(対象は 昭和56年5月以前 の木造住宅)

安心な住まいへの道

木造住宅の
耐震診断



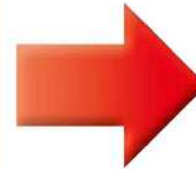
年度内に、補強計画の作成と耐震補強工事を行うと、補助額が増額されます！



補強計画の作成



耐震補強工事



工事箇所、工事費を検討して、補強設計を作成します。
補強計画に基づき、耐震補強工事を実施します。

【補助額】

・限度額 **100** 万円

【補助限度額】

耐震補強工事費の8割



耐震補強工事で、
税制の特例が受けられます。

○所得税
基準額の10%控除
(限度額25万円)

○固定資産税
税額の1/2減額(1年間)

※税制の特例を受けるためには、市町
等で発行する証明書が必要です。

耐震補強工事費用について

壁の補強

●筋かいによる補強

●構造用合板による補強



筋かい



構造用合板

〈参考価格〉

筋かい、構造用合板とも
室内

8~15万円/ヶ所

押入内

6~9万円/ヶ所

外部

10~20万円/ヶ所

(通常の仕上げ材料を含みます)
通常、補強箇所が多くなると1ヶ所当りの単価は、
安くなります。

筋かい(斜めに設置した木材)により、横揺れに強い壁に補強します。各部材の接合部は専用の金物で補強します。

壁に構造用合板(強度の強い板材)を貼り、横揺れに強い壁に補強します。長さ50mmの釘を15cm間隔に土台、柱、間柱、梁(胴差)に打ち付けます。

基礎の補修

〈参考価格〉**1~2**万円/ヶ所



既存の基礎にひび割れがある場合に、エポキシ樹脂を注入して補修します。この場合、基礎は元の強度以上に強くなることはありません。

ポイント

※地盤ごと基礎が沈下して、ひび割れが生じている場合は基礎を打ち増すほうが適切です。

基礎の補強

〈参考価格〉**2.5~3**万円/m



既存の基礎の外側または内側に鉄筋コンクリート基礎を打ち増します。

耐震補強工事例

総合
評価点

0.44

改修前... before

別除する可能性が低い

1.04

改修後... after

—見直し済—

耐震補強概要

耐力壁(筋かい)の
設置と墨根の置き替
えを行いました。

建物概要

階数 2階建
1階 約75㎡
2階 約35㎡

建築年 昭和51年(1976)

工事費

内容	金額	備考
仮設工事	73,000	
耐力壁の補修	442,000	32㎡
墨根の置き替え	629,000	188㎡
養生費	96,000	
消費税(10%)	124,000	
計	1,364,000	(税別)

※工事費は市町単位での平均値です。

令和4年度 耐震補強工事費の実績 <データ数 393件>

